

2019年度 まつやま大手町保育所の自己評価について

(株)愛媛CATV まつやま大手町保育所

「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。この事を踏まえ、まつやま大手町保育所ではこれに基づき検討し、保育の質の向上を図る為、保育所及び保育士の自己評価を実施しました。

今後はこの結果を踏まえ、次年度の保育計画・保育内容等の改善に活かし、改善していく事で、保育所の専門性・組織力を高め、保護者の皆様や 地域の皆様との信頼関係がより良く深まるよう努めてまいります。

2019年度、保育所及び職員の自己評価についてご報告いたします。総合評価は最後に記載しています。

職員が1年間を振り返り、評価をする事で新たな課題を見つけ、園の運営や経営に役立てればと考えております。

引き続き、来年度も職員一同、心を1つにして未来ある子ども達のために笑顔あふれる保育に努めてまいりたいと思っております。

どうぞよろしく申し上げます。

まつやま大手町保育所の自己評価				
【評価の基準】 A できている B ある程度できているが不十分・改善を要する点がある C ほとんどできていない、もしくはできていない				
項目	評価内容	評価		
		A	B	C
に保 つ育 い目 て標	① 保育方針・保育目標は職員間で共通理解を図っている。		○	
	② 保育方針・保育目標が活かされるような保育内容を考えている。		○	
	③ 目標は前年度の反省を活かしている。	○		
○評価の根拠●改善策				
○保育所保育指針に基づき、全体的な計画・年間指導計画・月案・週案・日案を作成している。 ○前年度実施した保育内容を見返すと共に、その年齢ごとの子供の育ちを把握し、個々の子供たちに寄り添える保育の計画・実施に努めている。 ●各年齢の担当が保育目標や計画を立てているが、それぞれのつながりに不足を感じる。来年度は日々の保育について保育士全体での共通理解を深めるため勉強会などを実施していく。				
保 育 内 容 に つ い て	① 計画指導は乳幼児の実態に配慮して作成している。		○	
	② 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○		
	③ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ、見通しを持ちながら進めているか。	○		
	④ 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○		
	⑤ 素材・用具を適切に活用しているか。	○		
	⑥ 評価結果を基に保育の改善に努めている。	○		
○評価の根拠●改善策				
○子どもの思いを大切に受け止め、サインを見逃さずに対応している。また、子ども一人ひとりの育ちの違いを感じ、その子どもに合った肯定的な声かけをしている。小規模で家庭的な落ち着いた雰囲気の中で、一人ひとりに気を配り、丁寧に関わるようにしている。 ○子供たちの遊びの中から育つものを大切に、「遊び」に着目し必要な援助や環境の提供を行っている。 ○心身共に健やかにのびのびと育つため、積極的に戸外活動を取りれたり、季節のイベントを企画し様々な体験ができるようになるようにしている。 ●目標や保育計画は立てられているが、計画した保育のねらいや内容と、実際の保育実践との間に差異が見られる事がある。計画を実践に移せる『保育技術の向上』が必要。そのために、保育についてのディスカッションや勉強会などを取り入れていく。				
食 育 に つ い て	① 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせ、食育計画を立て、実践している。	○		
	② 旬の食材や行事食を取り入れ、様々な食材に触れ、味わえるようにしている。	○		
	③ 評価結果を元に食育の改善に努めている。	○		
○評価の根拠●改善策				
○個々の子供たちの「食」について職員全体で理解し、その子にあった食事の提供を目的に給食担当者と保育士がしっかりと連携をとって取り組んでいる。 ○季節や献立に合わせて、様々な食育イベントを企画実施しており、子供たちの食への意欲につなげている。 ○屋外遊技場にて季節の野菜を栽培し、子供たちと一緒に収穫のうれしさやとれたての野菜の味を楽しめるようにしている。				

保育・行事について	①	1日の流れ(デイリープログラム等)は現行で良いか。	○		
	②	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。	○		
	③	行事のねらいや実施回数などの内容を検討し、改善に努めている。	○		
	④	計画・実施・評価・改善の体制をとっている。		○	
	⑤	保護者の願いや意見を取り入れている。	○		

○評価の根拠●改善策

○各年齢ごとに、子供たちの育ちを捉えながら無理のない活動ができるようにしている。
 ○月初に個々の保護者から「保護者の願い」を記載してもらい、保育所との相互理解のもと保育が実践できるように努めている。
 ○季節時の行事や月1回程度実施している公開保育も含むは日ごろ子供たちが楽しんでいる活動から取り入れ、「行事だから」ではなく「日ごろの保育の延長上に行事がある」ことを目指している。
 ●保育に関してのPDCAサイクルの不足を感じる。実践しそれを保育所全体で話し合い次の課題を見つけて改善の取り組めるサイクルをしっかりと作っていききたい。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	
組織・運営	①	職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に携わっているか。		○	
	②	職員間の連携がとれ、報告・連絡・相談等ができ、協働できる体制になっている。	○		
	③	係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○	
	④	職員の意見を聞いたり、話し合う場を定期的に持っているか。	○		
	⑤	打ち合わせ回数・時間・内容は適切か。		○	
	⑥	年齢別目標は、保育目標や乳幼児の実態に即して設定しているか。		○	
	⑦	意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○		
	⑧	同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○		
	⑨	評価・資料(記録)を集積しているか。	○		

○評価の根拠●改善策

○それぞれが自分の持ち場(担当)業務を理解するとともに、担当分野に関して積極的に案を出し合い実施していくよう努めている。
 ●その反面、意見を積極的に出す職員に偏りも見られる。一人一人の職員が自分の思いをしっかりと出していけるように担当の割り振りなどを再考していく必要がある。
 ○各担当年齢の今の状況や今後の保育についての見通しなどを職員会で話し合っている。
 ●職員会で話さずが、頻度としては不足を感じる。短い時間でも定期的に話し合う場をもっと設けていきたい。
 ○週の頭に先週の振り返り、今週の活動予定を話し合っている。このことで、各保育士の動きがお互いに見えるようになり、自分自身の保育もより具体的に活動を見ていけるようになった。
 ●各職員が、自分の得意分野を生かした活躍の場を作ること、一つの大きな力になるようにして。そのための仕事の役割分担を見直し、得意分野からの「発信」が積極的にできるように、より活発な活動ができるようにしていきたい。
 ○各年齢での園外保育実施や保育士の研修時等では、保育士の配置人数を増やす等、柔軟かつ臨機応変に対応できる体制にある。

保健・安全指導	①	危機管理意識を持ち、緊急時の対応できる体制・マニュアルの作成、保健対策を講じているか。	○		
	②	避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○	
	③	保育士・調理員が連携し、アレルギー児に対応する環境・体制にあるか。	○		
	④	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○		
	⑤	乳幼児の安全のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○		

○評価の根拠●改善策

○感染症・アレルギー・事故防止及び発生時のマニュアル・交通安全指導・避難訓練の年間計画を作成。それを基に対策・訓練の実施。
 ○アレルギー児の把握。食器の個別化徹底。除去食メニューを作成(松山市公立保育所メニュー)している。
 ○年2回の健康診断(歯科検診は1回)と、毎月の身体測定を実施。
 ●来年度は安全訓練計画(非常災害・生活安全・危機管理の3点)を立て、適切に実施できるようにする。

園内外研究・研修	①	研修・研究は保育目標の具体化につながるものであるか。	○		
	②	所内研修の計画・運営は適切か。		○	
	③	研究・研修の成果を日常保育に活かし、乳幼児の育ちに反映できているか。	○		
	④	各種研究会・研修会・講習会等への参加体制ができているか。	○		
	⑤	各種研修会・講習会等での内容を所内に報告・還元しているか。		○	

○評価の根拠●改善策

○保育士のキャリアアップ研修をはじめ、研修に参加できるよう職員を配置している。
 ○職員も積極的に研修・講習会に参加し、保育の質の向上及び自己研鑽に努めている。
 ●積極的に研修に参加しても、報告書作成はするが、職員に還元する時間を作ることができずいた。来年度から、主任保育士を中心に、園内研修や参加した研修報告ができる時間を設ける。

園内情報	①	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○		
	②	公文書收受・発送・処理を適切に行っているか。	○		
	③	各帳簿は、適切な方法で作成・処理しているか。	○		

○評価の根拠●改善策

○子どもの情報等は、守秘義務とプライバシー保護の観点で職員会等で全員(参加できないパート保育士は個々に)に周知し、個人情報に関する書類等は鍵付の棚で保管する等の配慮をしている。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	
施設・設備	①	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○		
	②	遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管されているか。	○		
	③	掲示板・掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。	○		

○評価の根拠●改善策

○遊具や玩具の点検(チェックシートの作成)や消毒を行い、整理整頓を定期的実施している。
○感染症の流行の進捗状況や保護者へのお願い等の掲示は口頭以外での周知に役立っている。

園外交流・情報	①	積極的に地域の文化や生活に触れ、地域との関係が適切に保たれている。	○		
	②	乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○		
	③	事業所職員の保育体験及び保育施設見学会を受け入れる時は、その目的や目的や意義を理解・確認しているか。	○		
	④	保育所から各種便りを定期的に発信しているか。	○		
	⑤	保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または地域の子育て資源に関する情報を提供しているか。	○		
	⑥	医療機関・児童相談所等の専門機関及び提携園について保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○		

○評価の根拠●改善策

○事業所内保育所である利点を生かして、柔軟に保護者に園行事に参加を促すと共に、行事には事業所社員にも参加いただき、多くの人とのコミュニケーションが取れるようにしておく。
○事業所である愛媛CATVの社員研修の一環に保育所体験を行ったり、他企業からの保育所見学を受け入れている。
○定期的にホームページにて園生活を公開して、より具体的に園での様子をみていただけるようにしている。また掲示板やポータルサイトなども取り入れて情報を提供している。
○事業所だけでなく、近隣の商店街や児童館、公共機関及び施設を積極的に利用する事で地域との交流は多く持つ事ができている。
○松山市・保育幼稚園課からの周知事項や園だより等の各種たよりを定期的に保育所側から発信している。
○保護者からの要望があれば、関係機関と連絡し、情報を提供する事ができる。

評外評価部	①	地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○		
	②	苦情解決の体制づくりはできているか。	○		

○評価の根拠●改善策

○保護者アンケートを実施し、改善の努力をしている。
※当園では第三者評価は導入していません。

まつやま大手町保育所の保育士の自己評価

【評価】

- A おおむね達成できている
- B 達成に向けて取り組んでいるが、まだ課題が残る
- C 成果が不十分である。

【回答者】

全職員職員9名

項目	業務内容	評価内容			
		A	B	C	
保育について	①	園の保育方針を理解して実践しようとしている。 ※常勤保育士は園の保育方針を理解して、各年間保育計画・月週案の内容や目標等を立て保育に従事できたか。	9	0	0
	②	子どもの姿を的確に捉え、保育に必要な記録資料などの作成と活用を効果的に行っているか。	5	4	0
	②	子どもの成長発達について理解と認識を持ち、個々に応じた適切な対応ができているか。	6	3	0
	④	計画立案に基づいた保育、クラス運営をしているか。 ※パート保育士は担任保育士や全体を見てフォローができるよう意識しているか。	5	4	0
	⑤	日々の反省を活かした計画立案や保育実践がなされているか。	5	4	0
	⑥	子ども一人ひとりの目標と課題を明確にし、見通しを持ってかかわっているか。 ※パート保育士は担任保育士が上記保育ができるようフォローができているか。	5	4	0
	⑦	子どもの発達を促すための環境作りやかかわりを心がけているか。	6	3	0
	⑧	子どもの姿を見ながら、臨機応変・計画的に環境作りや援助を行っているか。	5	4	0
	⑨	玩具や遊具の安全確認・消毒及び掃除・整理整頓に努めているか。	8	1	0
	⑩	子ども達の手本となるような言葉づかいや立ち居振る舞いを心がけているか。	5	4	0

安全管理	①	保育中の子どもへの配慮(かみつつき・危険な行動等)	7	2	0
	②	園外保育における人数確認及び安全確認ができていますか。	9	0	0
	③	園児の状態を指針・問診できているか。(表情・怪我・体調等)	9	0	0
	④	遊具・備品等の安全確認	8	1	0
接遇・保護者対応	①	好感の持てる態度で保護者や見学者・来客等に明るく丁寧な対応ができていますか。	9	0	0
	②	保護者等の話をよく聞くなど、コミュニケーションをとり、安心して相談できる関係作りに努力しているか。	7	2	0
	③	保護者に対し、子どもの様子を分かりやすく伝えているか。	7	2	0
	④	必要な情報を収集し、自分の実践に活かしているか。	5	4	0
職務	①	上司や先輩の指導・助言を受け入れ、実践しているか。	9	0	0
	②	組織の規則や手続き、職場のルールを守って職務に取り組んでいるか。	9	0	0
	③	服装や身だしなみを整え、丁寧に礼儀正しい対応をしているか。	9	0	0
	④	職員間の必要な連絡・連携・報告はとれているか。	6	3	0
	⑤	与えられた仕事(日常・行事・雑用等)はきちんとできているか(正確さ・提出期限)。	7	2	0
	⑥	組織の一員である事を自覚し、周りの仕事にも自主的に協力しているか。	9	0	0
	⑦	自己の体調を管理し、他の職員に迷惑がかからないよう努めているか。	7	2	0
	⑧	職務上、知り得た情報の守秘義務の遵守し、子どもの人権に留意しているか。	9	0	0
その他	①	問題意識を持ち、専門書を読んだり情報を収集したりして、自己の保育力の向上に努めているか。	6	3	0
	②	積極的に研修や講習に参加する等、保育について何らかの自己啓発(自己研鑽)に取り組んでいるか。	7	2	0
	③	新しい仕事や困難な仕事にも、失敗を恐れず、前向きに取り組んでいるか。	7	2	0

総評(保育士コメント抜粋)

・小規模ならではの保育を目指して、日々保育に取り組んでいる。中でも、子どもの興味・発達を捉えながら「遊びの中で育つもの」を大切に保育を行っていった。子ども達が興味を持った事、子ども達が発した1つの言葉、子ども達自身が生み出した遊びに常にアンテナをはり、それを広げていける環境の提供や援助を行えるよう心がけていった。実際に遊びの中で子ども達がひらめきや発想が見えたりと、人とのコミュニケーションが豊富になったり、イメージを共有してのかかわりが上手になったりと成長を促す事ができたの感じている。

・日々の遊びを夏祭りや運動会、発表会へと繋げ、1年を通して一貫性のある保育を行うよう努めた。しかし、子ども達の発想を大切にあまり、突発的な活動が生まれ、綿密な計画に欠ける部分があったと反省する。様々な活動を行うあたり、安全の確保・職員間の共有等、子ども達が安全に活動できる為には、しっかりと計画も必要になってくる。その点は、今後もしっかりと取り組まなければならないと思っている。

・個人の保育だけでなく、園全体の保育の質の向上に努めるべく、尽力しなければならない。その点が今年度の課題でもあった。来年度は、自身の保育に真摯に取り組むと共に、園全体のスキルアップを図れるよう努めていきたい。

・昨年度の反省を踏まえ、保育活動ができたと思う。特に保育士同士間でのコミュニケーションがより良くできた事で、挑戦してみたい事を積極的に伝える事ができたと思う。

・知識を得るために専門書も読んでいるが、より子ども達に実践できるよう努めていきたい。

・担任保育士と共通の意識を持ち、全体を見て行動しようという意識はあるものの、実際は至らない所も多くあったように思う。自分で考えて動く事も大切だが、どう動くべきか悩んだ時には、担任保育士に確認し、的確にフォローに入れるよう努めていきたい。

・今年度は1度も研修に参加する事ができていないので、積極的に参加し、知識を付け、保育の幅を広げられるようにしていきたい。

・強い責任感を持って日々の保育に努めるよう心がけた。初めての担任を受け持ち、不安な気持ちもあったが、子ども達とかかわる時は、それが表情に表れないよう笑顔で接する事ができたのではないかなと思う。

・年間の行事では、準備物等、色々動かなければならない場面が多くあったにもかかわらず、積極的に動く事ができなかった事が大きな反省点となった。来年度は、より強く責任感を持ち、研修等で学んだ事を活かしたり先輩保育士の技をしっかりと自分の物にできるよう保育をしていきたいと思う。

・日々の保育を通し、園児が楽しく過ごす事ができるようにという事を意識してきた。園児が興味を持った遊びには全力で一緒に楽しんだ。遊びの中にある園児一人ひとりの個性を大切に、日々成長・発達を促すかかわりをしていきたい。

・自己啓発にも取り組んでいきたい。

・子ども達と関わる言葉遣いに気を付けた。

・保護者とかかわる機会が少ないので、少ない機会を大切に不安を与えない対応を心がけたい。

・パート勤務で短い時間ではあるが、掃除や消毒の徹底、玩具の安全確認等しっかりしていきたい。

【総合評価】

1. 園全体の評価

開園3年目にあたる今年度は、さらなる保育の充実化を図るべく、園として新しいことに挑戦した年となりました。今年度新たに取り組んだ事としては、

①第一生命の助成金でリニューアルした屋外遊技場の充実化を図りました。

屋外遊技場での季節の草花が1年を絶えないような空間作り、また、夏野菜の栽培により収穫や栽培を行いました。

②食育イベントを多く増やし、一緒に素材に触れて下処理をしたり、ホットプレートを使って目の前で調理を積極的に取り入れました。

また、2歳児は保育士と一緒に簡単なお菓子作りにも挑戦したりしました。

③近隣の公園や児童館の施設まで散歩を兼ねての園外活動だけでなく、公共機関を使っての園外活動も充実させる事ができました。

しっかりと歩く事で体感もしっかりし、体力もついたと思います。

④毎月実施する公開保育も導入から展開、発展と園全体で楽しむ事ができるよう工夫しました。

それまでの過程を保護者の方にも共有できるような内容にする事で、子ども達の成長を直接感じてもらう事ができたと思います。

また、親子参加型の内容も多く取り入れました。日々、子ども達が笑顔で楽しく過ごしながら、健やかに成長している姿を見てもらえた

のではないかと思います。

⑤保護者支援では日々の子どもの様子を送迎時やおたよりノートで詳細にお知らせするのはもちろん、子ども達の楽しいエピソードや姿を、園の掲示やホームページで随時更新していくと共にポートフォリオも取り入れ、共に子ども達の成長を一緒に喜び、実感してもらえるようにしていきました。

昨年度のアンケートでもあった保護者が参加できる行事数を増やし、夏祭りでは卒園児やその保護者も招待し、盛大なイベントとなり大変評価をいただいたと思っています。

2. 来年度の課題

新たに新人職員や保育士経験年数の少ない職員が増えた事もあり、園内研修を充実させ、より良い保育を提供できるようにし、職員全体の保育の質の向上も図っていきたくと思っています。また、PDCAサイクルを意識し、職員が自信を持って仕事ができるよう支援していきたくと考えます。園内研修も参加した研修報告だけでなく、保育指針に基づいた目標やねらい、乳児保育についての基礎的な知識の構築が図れるような内容を検討、実施できる内容を主任保育士を中心に考えていくよう計画しています。担任保育士だけでなく、パート保育士も含め、全職員が共通の意識を持って取り組む事ができるような時間と研修の充実化を図っていきます。また、日頃の保育の振り返りや日々の保育の目標や育てたい内容等が話し合いができる時間を設けたいとも思っています。

保育士の自己評価の項目にある「保育について」の評価がB評価の割合が多い点については、クラス担任保育士・フリー保育士・朝夕短時間パート保育士の役割が違うためであると思われる。

3. 最後に

10名と小規模な保育所であるからこそ、家庭的できめ細やかな配慮と保育が提供できると自負しています。

今の現状に満足する事なく、引き続き、保護者の要望や希望を聞く機会を多く設け、保育理念にもある子ども達にとっては「豊かに生きる力」が育つような様々な経験ができる保育所、保護者の皆様にとっては「安心して預けられる保育所」となるようさらなる努力をしていきたくと思っています。